

# 国語表現

教科	国語	単位数	2	学科・学年・コース	商業科2年生大学進学クラス
使用教科書	「国語表現」(京都書房)			副教材等	プレゼミ実用国語(浜島書店)

## ◇ 学習の到達目標 ◇

- ①国語で適切に表現する力を育成し、話す力・聞く力・書く力を高めます。
- ②言語感覚を磨き、進んで表現する態度を身に付けます。

## ◇ 科目の特色 ◇

「国語表現」は、「国語総合」で学習した国語の基礎的な力の中でも、特に「話す・聞く・書く」という力をより一層高める科目です。

## ◇ 学習の計画 ◇

月	単元名	主な学習活動
4   6	・話すということ ・書くということ ・意見文を書く ・プレゼミ 基本1～6 (一般常識・表現力養成)	・話す、書くという表現活動を通して自分のことを分かりやすく伝える。 ・自分の意見や考えを正しく他者に伝える。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 【前期中間考査】
7   9	・通信文を書く ・調査したことを発表する ・プレゼミ 基本7～8 必修1～2 (一般常識・表現力養成)	・手紙の形式を学習し、お礼の手紙を書く。 ・近隣の企業について調べ、報告する。 ・本校の特徴をまとめ、中学生に向けて発表する。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 【前期期末考査】
10   12	・討論をする ・報告の文書を書く ・小論文を書く ・プレゼミ 必修 3～8 (一般常識・表現力養成)	・時事問題からテーマを設定して、ディベートを行う。 ・客観的で正確な文章を書く。 ・小論文を、構成に注意して書く。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 【後期中間考査】
1   3	・語彙を増やす ・文章を要約する ・プレゼミ 完成 3～4 (一般常識・表現力養成)	・語彙の知識を深める。 ・文章の趣旨を理解し、要約する。 ・漢字の読み書き、正しい言葉遣い、一般常識を身に付ける。 【後期期末考査】

## ◇ 評価の観点・方法 ◇

評価は、次の四つの観点から行います。

関心・意欲・態度	国語や言語文化に対する関心や理解を深めようとしているか。 国語を尊重して、その向上を図ろうとする意欲が感じられるか。
話すこと・聞くこと	話し手の意見や発表を的確に聞き取ることができるか。 自分の考えをまとめ、目的や場面に応じて筋道立てて話すことができるか。
書くこと	自分の考えをまとめ、筋道立てて書くことができるか。 目的や相手に応じて適切な文章を書くことができるか。
知識・理解	語句の意味を理解し、語彙を豊かにすることができたか。

このため具体的には、次のものを対象とします。

- ①授業で活用するプリントや定められた課題
  - ②学習の自己評価
  - ③定期考査
  - ④授業中における学習態度(発表や討論の様子、学習活動への参加状況など)
- また1年間の評定は、前期・後期の年間を通して、上記の内容を総合的に判断して行います。

## ◇ 担当者からのメッセージ ◇

スピーチや討論をしたり、文章を書いたりする授業ですので、主体的な態度が必要です。また、就職試験や入学試験に役立つ学習をしますので、意欲的に授業に取り組みましょう。